

職員ヒアリング対象事業に対する質問事項(とりまとめ)

2. 白井市地域福祉計画策定事業

質問項目	質問内容
<p>(共通)</p> <p>(個別) 審議会</p> <p>パブリックコメント</p>	<p>1. 今回実施した市民参加の手法に対する自己評価について</p> <p>2. 「第2次計画」は、「前期計画」の策定の時に実施した市民参加の手法と比べ、特に留意した点はあるか。</p> <p>3. 「市民参加条例」、「逐条解説」及び「市民参加の総合評価・評価基準」を十分に理解していたか。</p> <p>4. この事業で、市民参加の手法を実施して見て、その効果はあったと思いますか。それは、どのようなことですか。また、効果があまり上がらなかったとすると、その原因はどんなところにあったと思いますか。</p> <p>5. 地域福祉計画づくりは、生保などの福祉事業・母子・高齢者・障害者などの部会を設置して議論を進めていくのが一般である。この理由は、それぞれのテーマに独自性があり、一本で議論することはきわめて困難となるところからきている。しかし、本市の策定委員会は一本化して議論している。この理由は何か。また、学識経験者も母子・高齢・障害のテーマごとに専門家が異なるが、これらの方も策定委員会に加わっているのか。同様に意見交換会もテーマごとに開催するのが一般的であるが、本市の場合は一括して行われている。市民の意見がかみ合わないのではないか。</p> <p>7. 地域福祉の充実は家庭の主婦など女性にとって身近で切実な問題です。女性委員の比率が小さいように思います。公募委員に女性の応募者が少ないのでやむを得ませんが、その他の関係者として女性の方に入ってもらおうよう、関係機関にお願いする努力はされたのでしょうか。</p> <p>8. 会議録をもう少し早く公開できないか</p> <p>9. 作業部会の位置づけはどうであったか。</p> <p>10. パブリックコメントのHPのアクセス件数が著しく少ない。関心度、認知度が低いせいではないか？市や福祉事業者は努力している事業なのでもう少しアピールしていく必要ありでは？</p> <p>11. 1月5日～19日の間に実施、3月1日に公表された。審議会（2月27日開催）に諮られ、事務局の対応が承認された。もし、審議会でパブコメを受け修正ということになっ</p>

<p>意見交換会</p> <p>その他</p>	<p>た場合修正計画案を、再度審議会に諮ることになる。スケジュール的にタイトだったのではないか。 （第1次地域福祉計画は3月末で終了する。）</p> <p>12. パブリックコメントは2週間と短すぎると思いますがどうですか</p> <p>13. 意見交換会の意見の取り扱いはどのような方法で市民に周知したのか。</p> <p>14. 第1回定員80人に対し参加者18名 声掛けは十分だったか。</p> <p>15. ヒアリングに要した時間が各団体まちまちですが、あらかじめ団体毎に時間が決められていたのか、あるいは結果として1時間越えの団体や30分程度で終了した団体があったという事でしょうか。</p> <p>16. 市民参加実施状況調査(その他の方法)として福祉関係団体ヒアリングを15回実施していますが</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1時間にも満たない短時間で行うヒアリングとはどのようなヒアリングなのかご教示いただきたい。 ・実施回ごとに日時が異なっていますが、短時間で済むのならば、同一日にまとめて実施することは考えられなかったのでしょうか
-------------------------	---